

施設概要

(令和5年4月1日現在)

施設名 西白井公民館 (西白井複合センター内)		開館時間 公民館業務 午前9時～午後9時 児童館業務 午前9時～午後5時 図書室業務 午前9時(閲覧) 9時半(貸出)～午後5時 老人憩いの家 午前9時～午後5時 出張所業務 (水・金) 8:30～12:00 (日) 8:30～13:00 14:00～17:15		
所在地	〒270-1435 白井市清水口1-2-1	併設施設	出張所・児童館・図書室・老人憩いの家・地域包括支援センター	
TEL	047-492-1011	FAX	047-401-0282	
メール	shiroifukugou@roukyou.gr.jp			
休館日	月曜日・国民の祝日 12月29日～翌年1月3日	駐車場	32台(内2台障害者専用)	
職員構成 R5年4月現在	センター長1名 事務職2名 児童厚生員5名 図書司書5名 夜間管理3名 合計 16名			
貸出施設	1時間あたりの施設使用料(社会教育認定団体は2分の1)			
	施設名	定員	9:00～21:00 付帯設備	
	工芸室	24名	350円	工作机4台・椅子30脚・電気炉
	調理実習室	36名	720円	調理台6台・電子レンジ2台・ガス炊飯器2台等
	作法室	40名	350円	座卓15台・座布団70枚・将棋
	研修室	30名	350円	机10台・椅子30脚
	視聴覚室	50名	780円	机8台・椅子30脚・ピアノ・テレビ等
	レクリエーションホール	150名	970円	移動ステージ・卓球台・バトミントンネット・バスケットゴール等
貸し出し可能備品	ビデオ・机・椅子(備品の施設外貸し出し不可)			

令和4年度 公民館等団体別利用状況 (西白井公民館)

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	53	731	268	2,559	14	145	23	251	0	0	26	82	384	3,768
5	49	652	246	2,427	13	140	19	210	4	29	18	93	349	3,551
6	58	892	268	2,633	13	154	23	238	10	127	15	76	387	4,120
7	51	678	285	2,665	17	187	19	178	10	124	24	102	406	3,934
8	57	570	227	2,095	9	100	18	185	20	808	24	103	355	3,861
9	68	977	266	2,555	11	134	21	247	14	251	17	50	397	4,214
10	69	848	280	2,551	13	178	20	213	22	839	16	65	420	4,694
11	63	820	251	2,473	11	137	19	190	10	474	21	73	375	4,167
12	63	776	196	1,893	8	100	19	208	32	1,098	14	43	332	4,118
1	64	860	233	2,365	12	145	21	266	14	131	29	111	373	3,878
2	68	885	218	2,248	11	161	19	198	7	37	22	109	345	3,638
3	71	999	265	2,959	7	100	23	249	6	37	22	83	394	4,427
合計	734	9,688	3,003	29,423	139	1,681	244	2,633	149	3,955	248	990	4,517	48,370

令和4年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数(件)	利用人数(人)	年間利用率(%)
工芸室	492	2,959	32.9
調理実習室	76	513	7.5
研修室	821	6,207	49.4
作法室	505	3,647	36.2
視聴覚室	891	10,077	56.1
レクホール	1,732	24,967	92.5
合計	4,517	48,370	

令和4年度 西白井公民館 事業報告

●白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）

「ときめきと みどりあふれる 快活都市」

●目指す将来像を実現するために（第5次総合計画後期基本計画から抜粋）

戦略1「若い世代定住プロジェクト」

- ・ゆとりある暮らしを感じるまちづくり
- ・働く場を生み出すまちづくり
- ・子育てしたくなるまちづくり

戦略2「みどり活用プロジェクト」

- ・「かかわれる農」のまちづくり
- ・みどりを育み活かすまちづくり

戦略3「拠点創造プロジェクト」

- ・都市拠点がにぎわうまちづくり
- ・地域拠点でつながる健康なまちづくり
- ・拠点を結ぶまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、①「つどう」②「まなぶ」③「むすぶ」④「つくる」⑤「さがす」の公民館の代表的な5つの機能を生かした事業展開を行いました。

1. 運営方針

（1）全体の運営方針

- ・新型コロナウイルス対策によって停滞した活動に活気を取り戻す
- ・孤立した人々が新しいコミュニティに参画するきっかけを作る
- ・地域に対する理解を深めることで白井で生活する楽しさを知る

（2）分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①同世代の子どもを持つ保護者同士の交友関係を広げ、お互いに支え会える環境を作る ②子育ての支援を行い、地域全体で子育てを支える仕組みを作る ③子育て中に直面する問題を解決する手助けとなる知識を学ぶ
青少年教育 (2)	①性質の異なる人との交流を通して個性を認め合う人物となる ②様々な学習・活動に取り組むことで、学ぶことの楽しさを実感する ③自身の考えを伝える力を身に付け、コミュニケーション能力を高める
成人教育 (3)	①自己発見・自己実現のできる学習の場を提供する ②レクリエーションや運動により加齢による能力の低下を予防する ③話し合いを通じて、地域の抱える問題の解決方法を考える ④現代社会において、より良く生活するための知識を身につける

団体育成 (4)	①地域で活躍する人材と協力し活動の発展や新たな活動の創出を促す ②住民同士が交流し、活動に取り組むための仲間づくりの場を提供する ③新型コロナウイルス対策により活動が停滞した団体をサポートし、より良い活動状態を目指す
-------------	--

(3) 令和4年度 重点に実施した項目（講座・事業など）

- ・地域について新たに知りたくなった人が参加しやすい事業を実施する
- ・子育て世代の社会教育を推進する事業を実施する
- ・withコロナ、afterコロナ時代に対応できる社会教育活動のあり方を考案する

2. 公民館 講座等実施報告

(1) 学習講座事業

対象	学級・講座名	回数	参加人数
家庭教育 (1)	おやこ広場	①②③	10回 延べ170組349人
	親子体操	①③	1回 9組18人
青少年教育 (2)	親子で！科学体験教室	②③	6回 延べ39組78人
	子ども将棋教室	①②③	10回 講師の都合により中止
	夏休み子ども工作教室	①②③	2回 18人
	親子でプログラミング体験	②③	1回 講師の都合により中止
	アートで遊ぼう	①②③	2回 延べ15人
	キッズクラブ（子ども将棋教室の代替）	①②③	5回 延べ33人
	読書感想文の書き方（親子でプログラミング体験の代替）	②③	1回 8人
	レッツクッキング	①②③	2回 延べ32人
	書き初め練習会	①②	1回 12人
成人教育 (3)	男女共同参画事業 エンディングノートを書いてみよう	①③④	1回 17人
	初心者のためのスマホ講座	①④	1回 20人
	白井ネクスト5・10	①②③	5回 延べ55人
	認知症予防講座 100歳まで元気！シリーズ	①②④	3回 延べ26人
	手しごと倶楽部	①②	1回 6人
	腸活き活き講座	①②④	1回 10人
団体育成 (4)	市施設予約システム講座	②③	3回 延べ17人

(2) 講座以外に行った事業

- ・公民館利用者連絡協議会
- ・西白井複合センターまつり
- ・ともしびの夕べin白井
- ・レクホール開放

(3) 情報の提供

- ・ポスター掲示（自館・他館・掲示板他）
- ・広報しろいへの掲載
- ・ホームページへの掲載
- ・ブログへの掲載
- ・ミニコミ誌の活用
- ・SNSの活用

(4) 施設の提供

- ・生涯学習の場として、団体・サークルへの施設の貸出
- ・市民活動発表の場として、ロビーの貸出（作品等の展示）
- ・サロン開催や市民活動の場として、多目的室の貸出

(5) 「withコロナ」「afterコロナ」時代に向けた対応

- ・定期的な館内の消毒と換気の実施
- ・講座・施設利用等で人が密集する可能性がある場合、予約制を導入
- ・各部屋の定員を感染症予防を考慮した人数に設定
- ・施設利用者に名簿とチェックリストへの記入を依頼（6月まで名簿を提出）

講座・学習プログラム

講座名	おやこ広場		
対象	乳幼児親子		
募集人数	延べ 400人	参加人数	延べ 170組 349人
事業の課題と目標	<p>事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスによる新しい生活様式の中で、安心安全な事業を行う。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各回テーマを決めて、季節を感じる製作物を作成する。 ・コロナ疲れの保護者の方にリラククスしてもらう。 ・育児は楽しい、子どもはかわいいと、保護者の方に感じてもらう。 ・子どもの成長を一緒に喜ぶ。 		
学習期間	令和4年4月～令和5年2月	回数	10回
学習場所	遊戯室、レクホール		
予算	総額： 0円 ※うち参加者負担金 0円 内訳： 講師料 0円 その他事業費 0円	決算	総額： 0円 ※うち参加者負担金 0円 内訳： 講師料 0円 その他事業費 0円
講師	児童館職員		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・換気や消毒、人数制限を徹底し、不安をなくす。 ・1組ずつ制作をしてもらい、その都度アルコール消毒をしてもらう。 ・道具を個別に用意し、1組終わるごとにアルコール消毒をする。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・1組ずつおこなったので、職員と親子が親密に関わることができた。 ・親子でコミュニケーションをとりながら、季節を感じる製作物等を楽しむことができた。 ・参加した親子が仲良くなり、良い出会いの場となった。 		
備考			

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	4月21日 ～28日	ゆびあそびぞうさん製作 参加人数 17組 37人	児童館職員	コロナ疲れの親子さんにリラククスしてもらい、もの作りを楽しむ。
2	5月19日	手がたでアート 参加人数 16組 32人	児童館職員	コロナ疲れの親子さんにリラククスしてもらい、もの作りを楽しむ。子どもたちの成長の記録を残し、喜びを分かち合う。
3	6月16日	ちびっこ運動会 参加人数 19組 40人	児童館職員	梅雨の時期で外遊びがあまりできないので、親子のストレス発散のため、運動会をおこなった。
4	8月18日 ～25日	たこさんヨーヨー作り 参加人数 16組 34人	児童館職員	季節を感じるもの作りを楽しむ。
5	9月15日 ～18日	秋のくたもの製作 参加人数 14組 32人	児童館職員	季節を感じるもの作りを楽しむ。

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
6	10月20日	ハロウィーンを楽しみましょう。 参加人数 24組 50人	児童館職員	季節を感じるイベントで、楽しい時間を過ごしてもらおう。
7	11月17日 18日	たのしいおべんとう製作 参加人数 16組 32人	児童館職員	子どもたちに、食事に興味を持ってもらおう。
8	12月15日 21日	クリスマスリース作り 参加人数 16組 30人	児童館職員	季節の行事に対しての、もの作りを楽しむ。
9	1月19日 20日,25日	福笑い うさぎ作り 参加人数 17組 32人	児童館職員	季節の行事に対しての、もの作りを楽しむ。
10	2月16日	ひなまつり製作 参加人数 15組 30人	児童館職員	季節の行事に対しての、もの作りを楽しむ。

講座・学習プログラム

講座名	親子で科学体験教室		
対象	小学生とその保護者		
募集人数	各7組14人	参加人数	延べ39組78人
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、授業時間などで直接的な実験を行う機会が失われがちである。 ・科学学習に興味を持つ機会がない子どもたちがいる。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な材料を使った実験や、見ていて楽しい仕掛けのある実験を行うことで、科学に対する興味を高められるようにする。 ・家庭でも科学について触れることのできる題材を提供する。 <p>学習期間 令和4年5月～令和5年3月</p> <p>学習場所 多目的室</p>		
予算	総額： 50,000 円 ※うち参加者負担金 30,000 円 内訳： 講師料 30,000 円 その他事業費 20,000 円	総額： 45,683 円 ※うち参加者負担金 25,200 円 内訳： 講師料 30,000 円 その他事業費 15,683 円	決算
講師	つくばエキスポセンター 講師 加地浩成さん		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・参加児童に加え保護者の参加もある為、テーブルや椅子等を状況に応じて準備する。 ・出欠確認（欠席の方へ電話確認） ・一定の間隔をあげ、換気などを十分ににする。 ・講義を聞き取りやすいようにスタンドマイクを準備。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・科学は身近にあることを体験してもらった。 ・身の回りにあるものを使って実験や観察を行い、親子で体験したことを家庭での話題にしてもらった。 		
備考			

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	5月8日	「身近な材料で草木染めをしよう」 ガーゼハンカチを桜・玉ねぎ・紫キャベツの染め液で染め、玉ねぎ染めのは絞り染めにした。媒染材や酸性、アルカリ性で色が変化することを学んだ。『ちよこっとサイエンス』ではペットボトルの中に雲を作る実験を行った。 募集人数 7組 14人 参加人数 7組 14人 自己負担金 4,200円	加地先生	化学変化をやさしく説明してもらい親子で絞り染めのデザインを考えたり、和やかな雰囲気での講座であった。
2	7月10日	「顕微鏡でミクロの世界を覗こう」 スマホにルーペを装着した顕微鏡での観察・光学顕微鏡を使った観察 『ちよこっとサイエンス』では浮沈子について学んだ。簡単な実験だが"アルキメデスの原理"などに則った実験である。 募集人数 7組 14人 参加人数 7組 14人 自己負担金 4,200円	加地先生	調味料や葉っぱ、手のひらなどごく身近にあるものをスマホルーペで観察したり、親子でアレバラストを作り、光学顕微鏡でミクロの世界を覗いた。
3	9月11日	「"飛ぶ"を遊びながら科学しよう」 4種類の飛行機を作って"飛ぶ"原理を学ぶ。アルコールでペットボトルを飛ばしたり、三角翼の紙飛行機を作った。植物の種が飛ぶ仕組みを考えたり動きのある題材が多かった。『ちよこっとサイエンス』では伝声管の体験を行った。 募集人数 7組 14人 参加人数 7組 14人 自己負担金 4,200円	加地先生	市販の"スカイスクリュー"キットを作って、翼に各自がイラストを描き加えたり、プーメランを飛ばすなど動きのある題材のため、子どもたちも喜んでいった。
4	11月13日	「牛乳パックで紙すきしおりを作ろう」 牛乳パックからバルブを取り出して、すき枠に流し込んで、2枚のはがき大の紙を作り、乾燥させてから紫キャベツと玉ねぎの液に15分漬けて草木染めのしおりを完成させた。『ちよこっとサイエンス』では表面張力と空気砲の実験を行った。 募集人数 7組 14人 参加人数 5組 10人 自己負担金 4,200円	加地先生	牛乳パックのリサイクルでCO2が減少するなど、小さなことでも地球温暖化防止に貢献できることの紹介を行った。

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
5	1月8日	「ビー玉万華鏡と分光万華鏡を作って光の世界を覗こう」 光の三原色を学び、混合して色の変化を確認した。ミラーシートで作るビー玉万華鏡ではきれいな柄が見られ、画用紙で作った分光万華鏡では様々な光を観察し比較を行った。『ちよこっとサイエンス』では講師が光と水の屈折率の違いによるマジックを実演した。 募集人数 7組 14人 参加人数 7組 14人 自己負担金 4,200円	加地先生	簡単な材料できれいな万華鏡を作ることができるところを体験した。
6	3月12日	「見えない空気の動きを科学しよう！」 ポンプを取り付けたペットボトルに空気を貯め重さを計測し1グラム増えたことを確認した。 段ボール空気砲に煙を充填させ、叩くと輪が噴出する実験で空気の流れを見ることが出来た。 『ちよこっとサイエンス』では"ヨウ素デンプン反応"の実験を行った。 募集人数 7組 14人 参加人数 6組 12人 自己負担金 4,200円	加地先生	目で見ることでできない空気を風や煙を使って可視化する実験を数種行った。親子でペットボトル空気砲を作る作業を行ってもらった。

講座・学習プログラム

講座名	親子体操		
対象	乳幼児とその保護者		
募集人数	10組 20人	参加人数	9組 18人
事業の課題と目標			
課題	・新型コロナウイルスによる新しい生活様式の中で、安心安全な事業を行う。		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の親子に楽しい時間を過ごしてもらう。 ・ほかの親子とのコミュニケーションをはかり、育児の不安やストレスを軽減する。 		
学習期間	令和4年5月	回数	1回
学習場所	レクホール		
予算	総額：	5,366 円	総額：
	※うち参加者負担金	0 円	※うち参加者負担金
	内訳：講師料	5,000 円	内訳：講師料
	その他事業費	366 円	その他事業費
講師	フリースポーツインストラクター AKI (アキ) 先生		
事業参加者への配慮等			
・親子の安全に気を配る。			
・母親がヨガをしているときは、子どもの安全に気を配り、遊び相手になる。			
事業の成果 (課題や目標に対して)			
・母親だけのヨガの時間があり、母親たちはリフレッシュできたようだった。			
・母親から初めて離れることができた幼児があり、成長を喜びあうことができた。			
備考			

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	5月20日	母親と子どものふれあい体操の後、子どもはレクホール後方に用意したおもちゃで遊び、その間に、母親だけのヨガを教えてもらう。 参加人数 9組 18人	AKI先生	母親のリフレッシュと、子どもをかわいいと思えるような体験をしてもらう。

講座・学習プログラム

講座名	キッズクラブ	
対象	小学生	
募集人数	延べ52人	参加人数 延べ33人
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会で互いに助け合って生きていけるような精神を培う場とする。 ・新型コロナウイルスによる新しい生活様式の中で、安心安全な事業を行う。 <p>目 標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの自主性と、他者を思いやる心を養う。 ・いろいろな小学校の子どもたちの交流を図る。 ・コロナ疲れの子どもたちに楽しい時間を過ごしてもらう。 	
学習期間	令和4年5月～12月	回数 5回
学習場所	児童館 学習室、遊戯室他	
予算	総額： 7,400 円 ※うち参加者負担金 2,200 円 内訳： 講師料 5,000 円 その他事業費 0 円	総額： 8,312 円 ※うち参加者負担金 2,200 円 内訳： 講師料 5,000 円 その他事業費 0 円
講師	しろいdeあそぶのみなさん他、児童館職員	
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちがうまくコミュニケーションをとれるように、全体に目配りする。 ・楽しく活動できるように、難しい場合は職員が手伝う。 ・異年齢のグループを作り、お互いに触れ合えるよう環境を整える。 ・熱中症に気を付ける。(外では必要に応じてマスクの着脱をする) 	
事業の成果(課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな小学校の子どもたちの参加があり、楽しく交流できた。 ・自分が住んでいる地域に興味を持ってもらうことができた。 ・いろいろな人と関わることができた。 	
備考		

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	講 師	事業のねらい
1	5月28日	ウォークラリーで白井に興味をもつ。 募集人数 12人 参加人数 11人	児童館職員	ウォークラリーを楽しみながら、自分たちが住んでいる地域に興味を持ってもらう。 いろいろな小学校の子どもたちの交流を図る。
2	8月21日	しろいdeあそぶさんとボードゲームを楽しむ。 募集人数 10人 参加人数 9人	しろいdeあそぶのみなさん	ボードゲームを通して、世界に興味を持ってもらう。 いろいろな小学校の子どもたちの交流を図る。
3	11月26日	センターまつり準備 募集人数 10人 参加人数 5人	児童館職員	西白井複合センターまつりの児童館のお店屋さんを手伝って、地域の人と関わる。
4	12月3日	センターまつり 1日目 募集人数 10人 参加人数 4人	児童館職員	西白井複合センターまつりの児童館のお店屋さんを手伝って、地域の人と関わる。
5	12月4日	センターまつり 2日目 募集人数 10人 参加人数 4人	児童館職員	西白井複合センターまつりの児童館のお店屋さんを手伝って、地域の人と関わる。

講座・学習プログラム

講座名	レッツクッキング		
対象	小学生		
募集人数	延べ18人	参加人数	延べ32人
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャンクフード等が手軽に食べられるようになり、食への関心が薄れてきている。 ・新型コロナウイルスによる新しい生活様式の中で、安心安全な事業を行う。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料理を通して作る楽しさを知り、食への関心を深める。 ・コロナ疲れの子どもたちにリラックスしてもらい、楽しんでもらう。 		
学習期間	令和4年6月～令和5年2月	回数	2回
学習場所	調理室		
予算	総額： 8,750 円 ※うち参加者負担金 8,750 円 内訳： 講師料 0 円 その他事業費 8,750 円	決算	総額： 12,976 円 ※うち参加者負担金 11,200 円 内訳： 講師料 0 円 その他事業費 12,976 円
講師	児童館職員		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・卵を割る等難しい工程は、できるだけ自分でできるように声かけする。 ・オープンを使うので、子どもたちがやけどをしないよう目を配る。 ・後片付けは、協力してできるように声かけする。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・2回ともブレゼントにできるお菓子作りを計画したからか、たくさんの申し込みをいただいた。 ・2回とも簡単なお菓子作りだったので、低学年の児童にも楽しんでもらえた。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・2回とも申し込みが多かったため、急遽午後の部を設けた。 		

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	6月19日	大きなメッセージクッキーを作ろう 募集人員 10人 参加人数 17人	児童館職員	コロナ疲れの子どもたちに楽しんでもらう。料理を通して作る楽しさを知り、食への関心を深める。
2	2月12日	簡単ココアケーキを作りましたよ 参加人数 8人 参加人数 15人	児童館職員	コロナ疲れの子どもたちに楽しんでもらう。料理を通して作る楽しさを知り、食への関心を深める。

講座・学習プログラム

講座名	手しごと倶楽部		
対象	市内在住		
募集人数	6人	参加人数	6人
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで体験したことのない新しいことに取り組みたい人が多い。 ・作品に取り組み完成させることは達成感を得ることができ生活の活力となるが、1人で作成すると挫折しやすい。 ・新型コロナウイルス感染症で疲弊した心を癒したい。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家にもってばかりの方に、少しでも何か発散できる場を作る。 ・技術を習得し、作る喜びを得る。 		
学習期間	令和4年8月	回数	1回
学習場所	工芸室		
予算	総額： 8,000 円 ※うち参加者負担金 3,000 円 内訳： 講師料 5,000 円 その他事業費 3,000 円	決算	総額： 8,000 円 ※うち参加者負担金 3,000 円 内訳： 講師料 5,000 円 その他事業費 3,000 円
講師	河上早百合さん		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・消毒や換気などの感染対策をしっかりとしつつ、参加者同士が交流しやすい配置を心がけた。 ・参加者や講師が過ごしやすいよう心掛けた。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・初めの方やそうでない方も楽しくパステルアートを体験できた。 ・今回の講座で自宅でもまたやってみたいという気持ちを持ってもらえた。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・途中から手芸カフェと併合。 		

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	8月6日	「パステル和アート」 パステルアートで金魚のイラストを描こう。 募集人数：6人 参加人数：6人 自己負担金：3,000円	河上先生	体験したことがない新しい作品に取り組み、みんな満足感を得る。

講座・学習プログラム

講座名	読書感想文の書き方教室		
対象	小学生	参加人数	8人
募集人数	8人		
事業の課題と目標	<p>読書を取り組み、楽しいと感じるようになるきっかけがない。</p> <p>読書に取り組み始める子であっても、感想文を書き上げるのは難しい。</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 読書感想文という課題を通じて、本を読むことの楽しさを知る。 自分の感じたことを文章にする方法を学び、自身の考えを表現する。 		
学習期間	令和4年7月	回数	1回
学習場所	視聴覚室		
予算	総額： 0円 ※うち参加者負担金 0円 内訳： 講師料 0円 その他事業費 0円	総額： 0円 ※うち参加者負担金 0円 内訳： 講師料 0円 その他事業費 0円	
講師	学校司書経験者 倉知 美早さん		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 過密にならないようにしつつも、講師が指導しやすい座席配置を心がける。 作成に悩んでいる子がいたら、感想が思い浮かぶよう声かけをする。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みが始まったばかりの時期に開催したため、感想文作成に使う本を読んできてもらえなかったが、全員本を事前に読んできてくれた。 最初に絵本の朗読をし、どのような感想があるか考えることで、感想文を書く感覚をつかめるようにした。 約2時間に渡って感想文作成に取り組みだが、どの子も飽きることなく取り組んでくれた。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> 7月30、31日に補講開催。30日参加者1人、31日0人。 		

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	7月23日	ワークシートを使って、読書感想文の作成に取り組む。 募集人数：8人 参加人数：8人	倉知先生	読書感想文という課題を通じて、本を読むことの楽しさを知り、自分の考えを表現する。

講座・学習プログラム

講座名	アートで遊ぼう		
対象	小学生	参加人数	延べ15人
募集人数	延べ16人	参加人数	延べ15人
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アートの側面からの表現力や想像力を養う場が少ない。 ・新型コロナウイルスによる新しい生活様式の中で、安心安全な事業をおこなう。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個性を引き出し作品に投影させる。 ・アートを通じて新たに興味関心を持つ分野へのきっかけ作りをする。 		
学習期間	令和4年7月～令和5年1月	回数	2回
学習場所	児童館 学習室		
予算	総額： 8,390 円 ※うち参加者負担金 3,360 円 内訳： 講師料 5,000 円 材料費 3,390 円	総額： ※うち参加者負担金 決算 内訳： 講師料 その他事業費	8,280 円 3,240 円 5,000 円 3,280 円
講師	河上小百合先生、児童館職員		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい箇所は援助しながら一緒に行う。 ・子ども達の考えを作品に出せるよう配慮する。 ・コロナ対策のための換気、消毒に努める。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が工夫しながら、個性的な作品を完成させることができました。 ・完成した自分の作品に満足し、達成感を味わってもらえた。 		
備考			

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	7月26日	バステルアート 募集人数 8人 参加人数 8人	河上先生	子どもたちにアートの側面から様々な体験をしてもらい、興味や関心をもってもらう。
2	1月28日	オリジナルバッグ作り 募集人数 8人 参加人数 7人	児童館職員	子どもたちにアートの側面から様々な体験をしてもらい、興味や関心をもってもらう。

講座・学習プログラム

講座名	夏休み子ども工作教室 磁石を使ったからくり工作 「スイカわり」を作ろう		
対象	小学3年生～6年生		
募集人数	10人	参加人数	18人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間をかけた工作に、集中力が保てない子や難しいと感じている子どもたちがいる。 ・新型コロナウイルスによる新しい生活様式の中で安心安全な事業をおこなう。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつもとは異なる複雑な工作に挑戦し、一つの物を作り上げる達成感、楽しさを実感してもらう。 		
学習期間	令和4年7月	回数	2回
学習場所	工芸室		
予算	総額： 16,240 円 ※うち参加者負担金 8,000 円 内訳： 講師料 5,000 円 材料費他 11,240 円	総額： ※うち参加者負担金 8,000 円 内訳： 講師料 5,000 円 材料費他 11,240 円	16,240 円 8,000 円 5,000 円 11,240 円
講師	おもちゃ病院 近藤雅昭先生		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の補助をする。 ・安全に楽しく工作ができるように配慮する。 ・使用した道具類はアルコール消毒する。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・作りが複雑だったが、ボランティアの大学生に協力してもらい、全員が作品を完成させることができました。 ・いろいろな道具を使って、一つの作品を完成させる喜びを味わってもらえた。 		
備考			

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	7月29日	磁石を使ったからくり工作「スイカわり」を作ろう ①午前の部 1時半～4時 参加人数 10人	近藤先生	複雑な工作に挑戦し、一つのものを作り上げる達成感、楽しさを実感してもらおう。
2	7月29日	磁石を使ったからくり工作「スイカわり」を作ろう ②午後の部 9時半～12時 参加人数 8人	近藤先生	複雑な工作に挑戦し、一つのものを作り上げる達成感、楽しさを実感してもらおう。

講座・学習プログラム

講座名	しろいネクスト5・10		
対象	市内在住	参加人数	延べ55人
募集人数	延べ95人	参加人数	延べ55人
事業の課題と目標	<p>・身近でありながら白井市について知らないことが多い。</p> <p>・家族や団体で専門的な学習をする機会があまりない。</p> <p>・白井市のこれからのこと考えるきっかけを作る。</p>		
目標	<p>・白井市の魅力をもっと知ってもらおう。</p> <p>・地域の人たちで楽しくコミュニケーションを取り合う機会を作る。</p> <p>・専門的な知識を深め、普段出来ない体験をしてもらい、今後の生活に役立ててもらおう。</p>		
学習期間	令和4年8月～令和5年3月	回数	5回
学習場所	児童館、作法室、視聴覚室、多目的室、館外		
予算	総額：18,000円 ※うち参加者負担金 5,000円 内訳：講師料 10,000円 その他事業費 8,000円	総額：17,860円 ※うち参加者負担金 4,100円 内訳：講師料 10,000円 その他事業費 7,860円	決算 17,860円 4,100円 10,000円 7,860円
講師	千葉県生物多様性センター、東邦大学 安立美奈子先生、環境課 しろいふるさとガイドの会 市川善美先生		
事業参加者への配慮等	<p>・消毒や換気などの感染対策をしっかりしつつ、参加者同士が交流しやすい配置を心がけた。</p> <p>・積極的に講座に参加してもらえようように、声かけ等を行った。</p> <p>・野外学習時は、事故やケガの無いよう周囲をよく確認した。</p>		
事業の成果（課題や目標に対して）	<p>・SDGsとそれについての対策や課題など、専門的な知識を得る機会を提供することが出来た。</p> <p>・動植物や史跡といった白井の魅力を知ってもらったことが出来た。</p>		
備考			

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	8月6日	「親子でSDGs！生物多様性と外来生物を学ぼう」 SDGsとは何かを学び、白井市に生息する動植物の実物や複製を見たり触ったりし、生物多様性と外来生物について知識を深める。 募集人数：10組20人 参加人数：5組12人	今津先生 村井先生	・生物多様性と外来種の危険性を知り、生態系を保護するために、自分たちが出来る身近な対策を学ぶ。 ・専門家から話を聞き、学校や身近では出来ない体験をする。
2	8月20日	「ゴミからはじめようSDGs！」 SDGsとは何かを学び、身近なゴミ関係から取り組む。分別、減量、資源化を学び、白井市で行っている活動を知り、今後役に立てる。 募集人数：20人 参加人数：7人	きれいなまちづくり係職員	・知っているようで知らなかったゴミの出し方や、どこに問い合わせればいいのか分からない問題を解決できる。 ・他市から居住を移した人に向けて白井市での取り組みを知ってもらおう。
3	9月3日	「SDGs！みんなで目指すゼロカーボンシティ」 白井市で表明された「ゼロカーボンシティ」向け、「カーボンニュートラル」とは何かを専門家から学び、市職員から今後の対策を聞き、知識を深める。 募集人数：20人 参加人数：8人	安立先生 環境保全係職員	・地球温暖化と温室効果ガス、二酸化炭素の生態系への影響について、専門家の分かりやすい講義で楽しく学ぶ。 ・自分が住む町ではどのような対策を行っているのかを知り、これから何が出来るか考える。
4	3月15日	「白井みより発見！～クイズを解きながら白井を知ろう！～」 白井の昔の地名や、どのように現在の町ができたのかなどクイズ形式で知識を深める。 募集人数：20人 参加人数：12人 自己負担金：900円	市川先生	・講習会や散策をすることで、白井の歴史や史跡に関する理解を深める。 ・集団で同じ体験をすることで、楽しくコミュニケーションを取り合う機会を作る。
5	3月22日	「白井みより発見！～鎌倉殿に献上された名馬のいにしえの地を歩こう！～」 西白井地区周辺の史跡をガイドを聞きながら集団で散策する。 募集人数：15人 参加人数：16人 自己負担金：3,200円	市川先生	・講習会や散策をすることで、白井の歴史や史跡に関する理解を深める。 ・集団で同じ体験をすることで、楽しくコミュニケーションを取り合う機会を作る。

講座・学習プログラム

講座名	腸活き活き講座		
対象	一般(シニア向け)		
募集人数	10人	参加人数	10人
事業の課題と目標			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢を重ねると生活習慣や腸内細菌のバランス変化などにより、おなかの不調を訴える方が増える。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・脳トレやおなかの体操を楽しみながら、健康寿命を延ばすヒントを知る。 ・「消化管のしくみ」「腸の動きと健康」「腸内細菌と健康とのかわり」などについて、楽しくやり取りをしながら学ぶ 		
学習期間	令和4年9月	回数	1回
学習場所	研修室		
予算	総額：0円 ※うち参加者負担金 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	総額：0円 ※うち参加者負担金 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	
講師	千葉県ヤクルト販売株式会社食生活アドバイザー 権豊子さん		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が興味を持てる様に、分かり易い内容にする。 ・脳トレやおなかの体操などでリラックスし、和やかな雰囲気の中で学べるようにする。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活に役立つ、具体的に絵や模型などを使った分かり易い内容だった。 ・クイズは答えが知りたくなる、興味の湧く問題の出題だった為、参加者も楽しくやり取りをしながら学べていた。 ・脳トレやおなかの体操も行い、充実した時間を過ごせた。 ・健康寿命を伸ばす為のヒントを沢山教えて頂き、健康について考える良い機会になった。 		
備考			

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	9月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズなどを取り入れながら腸について学ぶ。 ・脳トレ・おなかの体操などを行う。 参加人数10人	千葉県ヤクルト販売株式会社食生活アドバイザー	健康寿命を伸ばす為のヒントを沢山知り、健康について考える機会にする。

講座・学習プログラム

講座名	市施設予約システム講座 ～スマホバージョン～																	
対象	一般																	
募集人数	延べ18人	参加人数	延べ17人															
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍、様々な媒体に触れる機会が多くスマートフォンを持つ人が増えた。 ・パソコンからだけでなくスマートフォンで施設予約をする機会が増えた。 																	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・サークルが主体として予約システムを使いこなせるようにする。 																	
学習期間	令和4年9月	回数	3回															
学習場所	視聴覚室																	
予算	<table border="1"> <tr> <td>総額：</td> <td>0円</td> <td>総額：</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>※うち参加者負担金</td> <td>0円</td> <td>※うち参加者負担金</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>内訳：講師料</td> <td>0円</td> <td>内訳：講師料</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>その他事業費</td> <td>0円</td> <td>その他事業費</td> <td>0円</td> </tr> </table>	総額：	0円	総額：	0円	※うち参加者負担金	0円	※うち参加者負担金	0円	内訳：講師料	0円	内訳：講師料	0円	その他事業費	0円	その他事業費	0円	
総額：	0円	総額：	0円															
※うち参加者負担金	0円	※うち参加者負担金	0円															
内訳：講師料	0円	内訳：講師料	0円															
その他事業費	0円	その他事業費	0円															
講師																		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・市の感染症予防ガイドラインに沿って検温、消毒、換気を実施する。 ・三密にならないよう椅子を配置する。 ・途中で分からなくなってしまう人がいたらお声掛けして解決していく。 																	
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・施設予約システム『抽選の申込』『抽選結果の確認と確定』『随時申込』を簡易版を使い3つを分けて開催した。 ・スクリーンに映した予約画面を見ながら、講師の説明や資料を参考にしながら実際に申し込み等してもらった。 ・ホームページ画面の出し方から入力のやり方、抽選申し込みのスケジュールや支払期間などを理解してもらえた。 ・サークルで施設予約担当を引きついでいたが、マニュアルがなく困っていた人たちの役に立った。 																	
備考																		

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	9月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・予約システムの確認 ・抽選申込、抽選確認、随時申込の方法・説明 ・抽選予約の実践 募集人数 6人 参加人数 6人	職員	最初に多機能版と簡易版があることを説明し、利用案内にそって施設予約のスケジュールを確認しながら進めていった。予約システムのスケジュールに伴い、抽選の申込み直接していった。
2	9月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・予約システム確認 ・抽選確認の実践 募集人数 6人 参加人数 5人	職員	前回の抽選した予約の確認を行った。その際の訂正方法なども確認しながら進めていった。
3	9月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・予約システム確認 ・随時予約の確認 募集人数 6人 参加人数 6人	職員	抽選で落選した場合の随時申込をし、その際の訂正方法なども確認した。

講座・学習プログラム

講座名	男女共同参画白書 エンディングノートを書いてみよう		
対象	市内在住者		
募集人数	20人	参加人数	17人
事業の課題と目標	<p>事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族同士、どのような家庭を築きたいか改めて話し合う機会がない。 ・急な家族の逝去により、故人の遺志が確認できないことがある。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンディングノートを書くことを通じて、家族がどのような思いを抱いているか知る機会を作る。 ・亡くなったときの対応を決めておくことで、相続等のトラブルを回避する。 		
学習期間	令和4年9月	回数	1回
学習場所	視聴覚室		
予算	総額： 0円 ※うち参加者負担金 0円 内訳： 講師料 0円 その他事業費 0円	総額： 0円 ※うち参加者負担金 0円 内訳： 講師料 0円 その他事業費 0円	
講師	千葉県金融広報委員会 田中 信之先生		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・三密にならないよう、間隔を保った机の配置にする ・項目別見開きページで詳しくまとめた資料を配布する 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・講師はCFPの資格を持つ知識豊富で質疑応答も含めて充実した講義であった ・講師が例示を示し具体的に解説をしてくれ「わかりやすかった」と参加者に好評だった 		
備考			

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	9月22日	エンディングノートを書いてみよう 講師の用意した小冊子の資料にそって、エンディングノートの書き方を学ぶ。 参加人数 17人	田中先生	エンディングノートを書くことを通じて、家族がどのような思いを抱いているか知る機会を作る。

講座・学習プログラム

講座名	初心者のためのスマホ講座		
対象	市内在住者		
募集人数	20人	参加人数	20人
事業の課題と目標	<p>事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンの使用に興味があってもうまく使いこなせない方が多い。 ・コロナ禍の為、人と人が直接会ってコミュニケーションをとる機会が減っている。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンの基本的な使い方を体験しながら学ぶ。 ・スマートフォンを使いこなすことで対面以外のコミュニケーション方法を増やす。 		
学習期間	令和4年10月	回数	1回
学習場所	研修室		
予算	総額： 0円 ※うち参加者負担金 0円 内訳： 講師料 0円 その他事業費 0円	総額： 0円 ※うち参加者負担金 0円 内訳： 講師料 0円 その他事業費 0円	
講師	ソフトバンク公認スマートフォンアドバイザー		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・三密にならないよう、間隔を保った機の配置をする。 ・講座で使用するスマートフォンは、講師持ち込みの専用機になることを説明する。 ・換気をし、受け付け検温、使用済みの鉛筆、机椅子の消毒を行った。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・午前スマホの入門編ということで、スマホの持ち方、アプリの説明などあった。説明もわかりやすく皆さん積極的に質問されていた。 ・午後はスマホの基礎とline,sirの説明が行われた。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・次回を希望される方も多かったため、引き続き講座を継続して実施していきたい。 		

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	10月12日	スマートフォンの基本的な使い方を体験しながら学ぶ。 参加人数 20人	ソフトバンク スマートフォン アドバイザー	スマートフォンを使いこなすことで 対面以外のコミュニケーション方法 を増やす。

講座・学習プログラム

講座名	100歳まで元気！シリーズ		
対象	一般		
募集人数	延べ34人	参加人数	延べ26人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地域は特に高齢化が進んでいる。 ・コロナ禍で地域住民が、気軽に交流できる機会が減っている。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記のテーマを食、体操、認知症予防の3つの観点から、心身ともにいきいきとしたシニアライフを送るための提案を行う ・地域住民の交流の場を提供する。 		
学習期間	令和4年10月～11月	回数	3回
学習場所	調理室、視聴覚室、研修室		
予算	総額：17,200円 ※うち参加者負担金 12,200円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 12,200円	総額：17,645円 ※うち参加者負担金 12,200円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 12,645円	
講師	市健康課職員、西白井包括支援センター及び市高齢者福祉課職員、アロマインストラクター 河野真理先生		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・市の感染症予防ガイドラインに沿って検温、消毒、換気を実施する。 ・三密にならないよう気を配る。 ・コロナ禍で使用頻度が少なかった食器、調理器具などの熱湯消毒を実施する。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・免疫力アップのための講話の後、調理実習を行い、食の重要性を認識した。 ・地域包括支援センターの役割説明の後、認知症予防効果のあると言われる体操（コグニサイズ）を行った。 ・アロマの効能の説明後、参加者が好みのアロマを選び、ヘアトリートメントオイルを作り、マッサージを行った。 		
備考			

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	10月19日	健康料理～免疫力アップレシピ 募集人数：6人 参加人数：6人 自己負担金：4,200円	市管理栄養士 見島先生	<ul style="list-style-type: none"> ・健康維持の観点から食材、献立の工夫を提案する。 ・コロナ禍ではあるが、自分自身のため、家族のための食事作りの基本を学び、高齢化社会を健康に生き抜くことを目指す
2	11月11日	～いきいきシニアを目指して～ 募集人数：20人 参加人数：12人	市高齢者福祉課：栗原さん 西白井駅前地域包括支援センター：大澤さん、鈴木さん	<ul style="list-style-type: none"> ・シニアの方々、およびご家族に役立つ情報を提供したい。 ・地域包括支援センター職員からその役割、利用方法を伝える。 ・高齢者福祉課職員から脳トレと体操を組み合わせたプログラム（コグニサイズ）を実践し、認知症予防につなげる。
3	11月24日	アロマ講座 募集人数：8人 参加人数：8人 自己負担金：8,000円	アロマインストラクター：河野先生	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症予防に効果があるアロマ（精油）を用いてヘッドトリートメントオイルを作り、実際にマッサージを行い、認知症予防を目指す。

講座・学習プログラム

講座名	書き初め練習会	
対象	小学3年生～6年生	参加人数
募集人数	12人	参加人数
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスによる新しい生活様式の中で、安心安全な事業を行う。 冬休みの宿題の書き初めを、家庭で行うことが困難な小学生がいる。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 書道に真摯に取り組んでいるサークルの講師、会員のみなさんの指導のもと、書道に対する心構えを学ぶ。 	
学習期間	令和4年12月	回数
学習場所	レクホール	回数
予算	<p>総額： 5,000 円</p> <p>※うち参加者負担金 0 円</p> <p>内訳： 講師料 5,000 円</p> <p>その他事業費 0 円</p>	<p>総額： 6,236 円</p> <p>※うち参加者負担金 0 円</p> <p>内訳： 講師料 5,000 円</p> <p>その他事業費 1,236 円</p>
講師	婦和会書道部 田中恵粋先生、岡戸記代子さん他5名 事業参加者への配慮等	
備考	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめ宿題の課題を調べて、先生にお手本を書いていただく。 体育館を使用するので、開始前にブルーシートを敷く。 先生方の補助をし、困っている児童がいないようにする。 <p>事業の成果（課題や目標に対して）</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生のアドバイスにより、短時間で素晴らしい作品を仕上げることができた。 	

学習報告

No	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	冬休みの宿題になっている書き初めの練習をする。 参加人数 12人	田中先生 他	冬休みの書き初めの課題を上手に仕上げる。

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	4月26日	定例会議 年度計画と、ともしびのタペin梨の泉の計画 参加人数 6人	東日本大震災犠牲者に追悼の意を示す。 自然災害についての啓蒙を図る。 地域を活性化する。
2	7月26日	定例会議 ともしびのタペin校台、あかりアートフェスタの計画 参加人数 6人	東日本大震災犠牲者に追悼の意を示す。 自然災害についての啓蒙を図る。 地域を活性化する。
3	9月27日	定例会議 ともしびのタペin校台、あかりアートフェスタの計画 参加人数 7人	東日本大震災犠牲者に追悼の意を示す。 自然災害についての啓蒙を図る。 地域を活性化する。
4	10月25日	定例会議 あかりアートフェスタの計画 参加人数 7人	東日本大震災犠牲者に追悼の意を示す。 自然災害についての啓蒙を図る。 地域を活性化する。
5	11月5日	ともしびのタペin校台 紙とうろうの点灯とコンサートの実施 参加人数 65人	東日本大震災犠牲者に追悼の意を示す。 自然災害についての啓蒙を図る。 地域を活性化する。

事業活動

事業名	ともしびのタペin白井	
対象	一般	
参加人数	延べ758人	
事業の課題と目標		
課題	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災から令和5年3月で12年が経過し、当時の記憶が風化しつつある。 地震などの自然災害について常に備えておく必要がある。 白井市住民同士の交流をはかる場が少ない。 	
目標	<ul style="list-style-type: none"> 白井市内の各地に紙とうろうを並べ、東日本大震災犠牲者に追悼の意を示す。 東日本大震災当時の様子について知ること、災害に対する危機感を高める。 児童や公民館利用者にロウソクの風よけを作成してもらい、地域住民の交流をはかる。 	
期 間	令和4年4月～令和5年3月	回 数 11回
場 所	西白井複合センター、校台センター、白井文化会館	
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員が活動しやすいように情報の共有に努める。 実行委員の取り組みたいことが実現できるように、相談先等の情報を提供する。 運営がスムーズにできるよう、情報共有に協力する。 	
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 白井市文化団体協議会との共催により「あかりアートフェスタ」を行うことができた。これまでで最大となる。 約3000個の紙とうろうに明りを灯すことができ、これまでの努力が報われる思いがした。 「ともしびのタペin梨の泉」は雨天のため中止となった。 「ともしびのタペin校台」ではコンサートを再開し、多くの方に来場してもらうことができた。 3月の「ともしびのタペin白井」ではたくさんの方々が最後まで参加し関心を深めた。 次年度も「あかりアートフェスタ」を継続し、災害に対する啓蒙と地域交流を推進していく予定である。 	
備 考		

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	事業のねらい
6	11月19日	あかりアートフェスタ 白井市文化会館にて紙とろうの点灯とコンサー トの実施（白井市文化団体協議会と共催） 参加人数 490人	東日本大震災犠牲者に追悼の意を示す。 自然災害についての啓蒙を図る。 地域を活性化する。
7	11月22日	定例会議 ともしびのタペin桜台、あかりアートフェスタの 反省 参加人数 4人	東日本大震災犠牲者に追悼の意を示す。 自然災害についての啓蒙を図る。 地域を活性化する。
8	1月24日	定例会議 ともしびのタペin白井の計画 参加人数 6人	東日本大震災犠牲者に追悼の意を示す。 自然災害についての啓蒙を図る。 地域を活性化する。
9	2月28日	定例会議 ともしびのタペin白井の計画 参加人数 6人	東日本大震災犠牲者に追悼の意を示す。 自然災害についての啓蒙を図る。 地域を活性化する。
10	3月11日	ともしびのタペin白井 紙とろうの点灯とコンサートの実施 参加人数 155人	東日本大震災犠牲者に追悼の意を示す。 自然災害についての啓蒙を図る。 地域を活性化する。

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
11	3月28日	定例会議 ともしびのタペin白井の反省と次年度計画 参加人数 6人	東日本大震災犠牲者に追悼の意を示す。 自然災害についての啓蒙を図る。 地域を活性化する。

事業活動

事業名	レクホール開放	
対象	18歳以下の子どもとその保護者	
参加人数	延べ39人	
事業の課題と目標		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の児童館では、運動遊びができない。 ・新型コロナウイルスによる新しい生活様式の中で安心安全な事業をおこなう。 	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・広い部屋で、普段児童館ではできない運動を楽しむ。 ・運動遊びを通じて、異年齢での交流を推進する。 	
期間	令和4年8月～令和5年3月	回数 3回
場所	レクリエーションホール	
事業参加者への配慮等		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・入室時の手指消毒、検温、マスクの着用（運動時は外す）の徹底をする。（令和5年3月29日は除く） ・運動をするにあたり、怪我のない様注意し見守る。 ・使用した道具類は、アルコール消毒する。 ・室内でも暑いので、水分補給を呼び掛ける。 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館では運動遊びができないので、楽しんでもらえた。 ・夏休みは外が暑いので、室内での運動遊びができてよかった。 ・長期休みの巡回で来館した小学校の先生とも遊ぶことができ、親睦を深めることができた。 	

事業報告

No	日程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	8月24日	レクホール開放 ボール遊び、バドミントン等 参加人数 子ども 12人 大人 1人	広いレクホールで体を動かして遊んでもらう。
2	1月6日	レクホール開放 ボール遊び、バドミントン等 参加人数 子ども 8人 大人 3人	広いレクホールで体を動かして遊んでもらう。
3	3月29日	レクホール開放 ボール遊び、バドミントン等 参加人数 子ども 12人 大人 3人	広いレクホールで体を動かして遊んでもらう。

事業活動

事業名	公民館利用者連絡協議会		
対象	利用団体		
参加人数	36人		
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新センター長の紹介・前センター長が駅前センター長に就任した報告をする。 ・センターまつりを実施することを旨とする。開催時期、日程、飲食、内容など決める。 <p>目 標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センターまつりを実施するか決定する。 ・実施なら開催時期と今後の日程を決める。 ・実施なら飲食をするかどうかを決める。 		
期 間	令和4年7月	回 数	1回
場 所	視聴覚室		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の紹介をする。ワイヤレスマイクを使用しどの方の意見も会場に伝わる。 ・どの利用者も積極的に話し合い、建設的に課題がまとまる。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年はコロナ禍でセンターまつりは中止になったが、今年の実施が実現した。 ・サポートナースの方を手配し、安全安心なセンターまつりが実現できた。 ・キッチンカーの設置も新しい試みとして好評だった。 ・コロナ禍の中、来館者が多かった。 		
備 考			

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	7月24日	<p>本年度のセンターまつりの開催をするかの確認をした。各団体の代表者1人会議場に入室してもらい、2人以上来た団体は別室よりZoomで参加した。</p> <p>参加人数 36人</p>	事業のねらい

ガイドラインに従って安全安心に実施したい。

事業活動

事業名	第33回 西白井複合センターまつり		
対象	一般		
参加人数	1,602人		
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当館周辺の地域住民がコロナ禍から復活し元気を出してもらいたい。 ・当館を利用するサークルがコロナ禍でも頑張っている姿を見て参加してもらいたい。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者から子どもまで楽しめる催しを開催し、地域住民同士の親睦を深める。 ・各サークルが学習の成果を発表することで、お互いの活動を知り交流を図る。 		
期間	令和4年12月	回数	2回
場所	全館		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が来場したくなるような楽しく、安全、安心の催しになるようにする。 ・多くの参加者が納得のできる発表を行えるよう段取りを話し合い準備する。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年はコロナ禍でセンターまつりは中止になったが、今年の実施が実現した。 ・サポートナーズの方を手配し、安全安心なセンターまつりが実現できた。 ・キッチンカーの設置も新しい試みとして好評だった。 ・コロナ禍の中、来館者が多かった。 		
備考			

事業報告

No	日程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	9月25日	第1回調整会議 参加者の確認とスケジュール調整 参加者 29人	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員の選出、紹介 ・参加団体の紹介 ・飲食物の販売 ・会場内の定員と新型コロナウイルス感染症対策 ・駐車場の利用 ・作業協力の計画 ・今後の日程
2	10月23日	第2回調整会議 備品借用の確認と当日の役割分担について 参加者 24人	<ul style="list-style-type: none"> ・参加団体の発表場、スケジュール、控室の確認 ・参加団体の備品使用の確認 ・駐車場の管理の確認、役割分担の確認 ・前日準備、片付けの確認 ・反省会の日時確認
3	12月3日	第33回西白井複合センターまつり1日目 参加人数 773人	<ul style="list-style-type: none"> ・子供から高齢者まで楽しめる催し物の開催で住民同士の親睦を深める。 ・各団体が学習の成果を発表し、互いの活動を知り交流をはかる。 ・コロナ禍での開催だが出展者や来館者に元気がでるようなきっかけにしたい。
4	12月4日	第33回西白井複合センターまつり2日目 参加人数 759人	<ul style="list-style-type: none"> ・子供から高齢者まで楽しめる催し物の開催で住民同士の親睦を深める。 ・各団体が学習の成果を発表し、互いの活動を知り交流をはかる。 ・コロナ禍での開催だが出展者や来館者に元気がでるようなきっかけにしたい。
5	12月11日	西白井複合センターまつり 反省会 参加人数 17人	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のセンターまつりの反省 ・次回のセンターまつりの課題 ・次回のセンターまつりの日程の決定

事業活動

事業名	手芸カフェ
対象	手芸が好きな人
参加人数	延べ65人
事業の課題と目標	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 手芸を好きな方は多いが、同じ趣味を持った仲間づくりをすることは難しい。 講師の指導の下、製作に取り組むと主体性が希薄になり、思うように製作できなかつたりする場合がある。 気軽にに入れる手芸の交流の場があまりない。
目標	<ul style="list-style-type: none"> 手芸という同じ趣味を持つ方が仲間づくりをするきっかけを作る。 各自のペースで作品製作に取り組むことで、主体性を生み達成感を得る。 ゆつたりと手芸作品を作ること、ストレスを解消する。 気軽に来れて交流が出来る場所を作る。
期間	令和3年6月～令和4年3月
場所	多目的室
回数	10回
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 過密にならないようにしつつも、参加者同士が交流しやすい座席配置を心がけた。 製作に困っている方がいたらお声掛けして出来る限り手伝った。 音楽やお茶、菓子を用意し、和やかな雰囲気になるよう環境を整えた。 作る物が無くても参加できるように、その場で作れるキットを数量限定で用意した。
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 用意するキットによって人気が異なり参加者の差がでたが、回を重ねるごとに周知はされてきているようだ。 各回でいろんな作品を楽しめると好評いただけたが、時間のかかる作品を日数を分けてやりたいという要望もあった。 持ち込み参加は数人いたが、持ち込んだ作品の作り方を教えてほしいというご意見があった。 コロナ対策の緩和もあり最後の2回はお茶やお菓子の提供が出来たので、ようやく手芸カフェの名の通りにできた。
備考	

事業報告

No	日程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	6月19日	持ち込み作成＆「ひよこの押絵根付」作り 募集人数：キット6人、持ち込み9人 参加人数：10人	<ul style="list-style-type: none"> 自宅だとなかなか作成できない方に場所の提供をしつつ、同じ趣味の人達が集まって交流できる場を作る。 誰でも気軽に立ち寄って手芸を楽しめる場所にする。
2	7月17日	持ち込み作成＆「いちごのシャドーパーボックス」作り 募集人数：キット6人、持ち込み9人 参加人数：4人	<ul style="list-style-type: none"> 自宅だとなかなか作成できない方に場所の提供をしつつ、同じ趣味の人達が集まって交流できる場を作る。 誰でも気軽に立ち寄って手芸を楽しめる場所にする。
3	8月21日	持ち込み作成＆「犬のあみぐるみ」作り 募集人数：キット6人、持ち込み9人 参加人数：2人	<ul style="list-style-type: none"> 自宅だとなかなか作成できない方に場所の提供をしつつ、同じ趣味の人達が集まって交流できる場を作る。 誰でも気軽に立ち寄って手芸を楽しめる場所にする。
4	9月18日	持ち込み作成＆「どうぶつの切り絵」作り 募集人数：キット6人、持ち込み9人 参加人数：12人	<ul style="list-style-type: none"> 自宅だとなかなか作成できない方に場所の提供をしつつ、同じ趣味の人達が集まって交流できる場を作る。 誰でも気軽に立ち寄って手芸を楽しめる場所にする。
5	10月16日	持ち込み作成＆「タティングレース」作り 募集人数：キット6人、持ち込み9人 参加人数：7人	<ul style="list-style-type: none"> 自宅だとなかなか作成できない方に場所の提供をしつつ、同じ趣味の人達が集まって交流できる場を作る。 誰でも気軽に立ち寄って手芸を楽しめる場所にする。

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	事業のねらい
6	11月20日	持ち込み作成& 「北欧クリスマスasmus飾りヒンメリ」作り 募集人数：キット6人、持ち込み9人 参加人数：7人	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅だとなかなか作成できない方に場所の提供をしつつ、同じ趣味の人達が集まって交流できる場を作る。 ・誰でも気軽に立ち寄って手芸を楽しめる場所にする。
7	12月18日	持ち込み作成& 「ねこのビーズマスケット」作り 募集人数：キット6人、持ち込み9人 参加人数：6人	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅だとなかなか作成できない方に場所の提供をしつつ、同じ趣味の人達が集まって交流できる場を作る。 ・誰でも気軽に立ち寄って手芸を楽しめる場所にする。
8	1月15日	持ち込み作成& 「ねこのビーズマスケット」作り 募集人数：キット6人、持ち込み9人 参加人数：6人	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅だとなかなか作成できない方に場所の提供をしつつ、同じ趣味の人達が集まって交流できる場を作る。 ・誰でも気軽に立ち寄って手芸を楽しめる場所にする。
9	2月19日	持ち込み作成& 「うさぎの押絵帳付」作り 募集人数：自由参加 参加人数：8人	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅だとなかなか作成できない方に場所の提供をしつつ、同じ趣味の人達が集まって交流できる場を作る。 ・誰でも気軽に立ち寄って手芸を楽しめる場所にする。
10	3月19日	持ち込み作成& 「うさぎの押絵帳付」作り 募集人数：自由参加 参加人数：3人	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅だとなかなか作成できない方に場所の提供をしつつ、同じ趣味の人達が集まって交流できる場を作る。 ・誰でも気軽に立ち寄って手芸を楽しめる場所にする。